



豊かな緑や清流など美しい自然に恵まれた美作（みまさか）市は、岡山県北東部にあり、兵庫県と鳥取県に接しています。二〇〇三年の市町村合併で誕生しました。私がこの地にある同市立大原病院に赴任したのは〇二年四月のことでした。

## 自己紹介から…

「初めまして、塩路と申します。よろしくお願ひします」。赴任当初の診察はこんな感じで始まったと思います。このあいさつは、私にとっては特に意識して行ったものではありませんでした。

ところが、病院の近所の散髪屋で髪を切ってもらっているとき、店主が「先生のあいさつ、

# 患者さんの笑顔に支えられ…

評判いいよ！『今度来た先生だ』って、さん（患者さん）声を掛けてくれました。「散髪はあいさつして自己紹介するんが喜んでたよ。頑張つてね」と来てこんなふうに声を掛けて

もらって…とまんざらでもない気分がしたのを今でも覚えています。

## 家庭環境も考慮

同じ目線に立ち、何でも相談できるような自由な関係を、築き上げつつ治療方針を決定しなければなりません。それには大きな労力と時間が必要です。日常診療の中で時間を割けないときは、定期外の時間に約束して十分時間を掛けて話し合うこともあります。

病院があるのは山間部で高齢者が多い地域です。高血圧症、糖尿病といった慢性疾患に加えて、胃がん、肺がん、大腸がんなどさまざまな疾患に出くわします。この病院で治療できる病気もあれば、都市部の大きな病院でないとい治療できない病気もあります。患者さんの家庭環境もそれぞれ異なります。



旧病院の老朽化に伴って2003年5月に新築移転。旧因幡街道の宿場町の外観と外構計画のもと建設された

## 美作市立大原病院

【私の勤務地】岡山県美作市北部（旧大原町）のへき地拠点病院。「一人一人の患者様が主人公である」ということを念頭に、予防および福祉医療を含めた信頼される包括医療の実践を追求し続けている。一般病棟40床、療養病棟40床。内科、外科、整形外科など計8科。

患者さん、患者さんの家族にとって満足度の高い医療を提供するように心掛けており、そのため医学的な治療方法と同時に、家庭環境も考慮した治療方法を選択していかねばなりません。このように家庭環境をも考慮した治療法は非常に幅広いものになります。

医師になって十五年、まだまだ勉強中の身です。普段は「塩路先生」と呼ばれていますが、本当の意味で「先生」と呼ばれるには、もっと時間が掛かりそうです。あいさつ、自己紹介で始まった私の地域医療は、まだスタート地点に立ったばかりです。